

# 県内経済の動き

## 概況

〔2022年9月～2022年11月の動き〕

### 乗用車販売の回復や百貨店・スーパー販売、雇用動向の安定推移が続く

鉱工業生産指数（9月）は2カ月ぶりに前年同月比低下、通関輸出額（10月 細島港）は5カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は13カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は3カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（10月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（11月 保証対象請負総額）は5カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（10月）は前月比▲0.02ポイントの1.48倍で、11月の企業倒産は前月比1件減の5件、負債額は同5億91百万円増の9億17百万円となった。

県内経済は持ち直しの動きが続いているが、新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあり、引続き第8波の影響が懸念される。